

【現場除雪事例：H13 北海道 95】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	幾春別川総合開発事業の内 原石山工事用道路北工区改良工事
施工場所	北海道三笠市
工期	平成 12 年 10 月 19 日～平成 14 年 1 月 18 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 3t 級、タイヤショベル 1.3m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	積雪が多いので 3 mポールで見出しを立てた。必要に応じてシートで覆い袋状にし排雪した。大型シート



人力除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 140】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道452号夕張市シューパロダム仮付替トンネル工事
施工場所	北海道夕張市南部東町
工期	平成12年9月27日～平成14年3月29日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 0.6m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	作業員の早出、残業にて対応シートにて養生を行い人力作業を減らす。



場内除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 3】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	下流工事用道路紙漣沢地区工事
施工場所	青森県中津軽郡相馬村大字紙漣沢地内
工期	平成 13 年 11 月 3 日 ~ 平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	雪ベラ / WA80-3 タイヤショベル 0.9m3
現場除雪の工夫・留意点等	現場作業に影響しない様、早朝出勤し除雪作業を行った。土工事箇所は、雪が混入しない様シート養生を行う。



シート養生している状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 14】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	主要地方花巻大曲線 川舟地区道路改良工事
施工場所	岩手県和賀郡沢内村川舟地内
工期	平成 13 年 9 月 27 日～平成 14 年 3 月 6 日
使用機材 / 機械	ブルドーザー-D3C、バックホウ 0.7EX200-5E
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工範囲を狭くして当日のうちに完成断面とするように努力していますが、それでも次の日まで作業が継続する場合は、作業ヶ所にブルーシート等を敷いて、人力及び、重機での除雪作業が行いやすいようにしています。</p>
	

【現場除雪事例：H13 北海道 127】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B4:シートの活用 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市簾舞改良工事
施工場所	北海道札幌市南区簾舞
工期	平成13年3月23日～平成14年2月20日
使用機材 / 機械	バックホウ0.4m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー2t
現場除雪の工夫・留意点等	除雪する範囲をその日、又は明日作業予定区域に限定し、なるべく二度手間にならない様にした。路床部にはシートで覆い、雪の残留を防いだ。使用機械は、作業に使用する機械を用いた。但し歩行者通路の除雪は小型除雪機で行った。



【現場除雪事例：H13 宮城県 2】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示 / B2:現場機材の活用 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	監査廊連絡通路改良工事
施工場所	宮城県柴田郡川崎町大字小野地内
工期	平成 13 年 12 月 29 日 ~ 平成 14 年 3 月 27 日
使用機材 / 機械	スコップ、竹ホウキ / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 3 t 級、ホイールローダー 0.3m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>降雪が予想される時は、予め作業終了前に掘削孔上部にブルーシート等で覆い、雪によって床付面が粗されない様に養生する。機械除雪が可能な場所においては、危険箇所及び障害物等周辺に目印となるものを設置する。融雪によって雪解け水が侵入する恐れのある箇所は、掘削孔周辺に土のうで設置し、侵入を防ぐ。使用する機材については、常時、現場にあるものを使用する。例えば土工事の施工中においては、当現場において、バックホウで雪を収集し、クレーン及びダンプトラックで場外へ搬出する又、土工事施工外においては、積雪量はよっては、必要機械を回送し、対応する。積雪量が少ない場内は常備品であるスコップを用いたスカ除雪を行う。工事車輛出入口及び斜面部分等、スリップ事故の恐れのある箇所では塩カル材を用いて凍結部分を融解させ、事故を防止する。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 6】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市南瑞穂改良工事
施工場所	北海道名寄市内湊
工期	平成13年11月3日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	ブルドーザ D3C、小型除雪機（ロータリー式）10馬力
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工法面にシートを敷設してシートの滑る作用を利用して雪を法尻に集めて人力により除雪を行った。工事用道路については、ブルドーザを使用小段の除雪については小型除雪機（ロータリー式）を使用ブルドーザ（D3C） 小型除雪機（ロータリー式）10馬力。</p>



施工法面の人力による除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 59】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	日高自動車道 門別町 きた平賀38号橋上部工事
施工場所	北海道沙流郡門別町
工期	平成13年9月29日～平成14年3月14日
使用機材/機械	スコップ、ほうき、ブロワ
現場除雪の工夫・留意点等	場内の雪を踏み固める前に、送風機で吹き飛ばし通路を作ってから除雪作業に取りかかる。送風機で吹き飛ばす際、型枠内に雪が入らないようにシートで覆いをする。

【現場除雪事例：H13 北海道 96】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道242号足寄町大誉地法面補修工事
施工場所	北海道足寄町
工期	平成13年9月12日～平成14年2月1日
使用機材/機械	スコップ、プロパンガス、バーナー
現場除雪の工夫・留意点等	法面施工ヶ所は機械での除雪は、無理な為、事前にビニールシートで覆い、人力での除雪作業が容易となるようにした。スコップによる人力



除雪状況（人力・スコップ）

【現場除雪事例：H13 北海道 114】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道453号 大滝村 北湯沢舗装外一連工事
施工場所	北海道大滝村
工期	平成13年8月23日～平成14年3月26日
使用機材/機械	ジヨンバー、ガスバーナー、ブルーシート/タイヤショベル 0.3m <sup>3</sup> 級、4t ダンプ 4t、路面ヒーター車、バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 級、モーターブレード 3.7m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	路盤の上にブルーシートで雪のつくのを防ぐ様にする。現場の施工が2層の舗装であったので1層目施工後2層に着手し除雪の回数を減少させる。新雪が降った後は、人力除雪で排雪等を行う(一度踏み固めると融解しづらい)



除雪中(人力、0.4m<sup>3</sup>TS 除雪)

【現場除雪事例：H13 北海道 115】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号占冠村溪流災害防除工事
施工場所	北海道一般国道274号 勇払郡占冠村
工期	平成13年11月21日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	角スコップ、除雪スコップ / タイヤショベル 0.3m <sup>3</sup> 、ブルドーザーD40、バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、キャリアダンプ 4t 積み
現場除雪の工夫・留意点等	現場出入り口については現場開始前にタイヤショベルで作業員連絡車等の駐車スペースを確保する。工事用道路についてはタイヤショベルとブルドーザーにて除雪する。法面、路肩、側溝等についてはバックホウ及び人力にて除雪する。工事用道路が2ヶ所に分かれており除雪用にタイヤショベルとブルドーザーの2台を用意する。キヤタピラーについては横滑り等の防止のためワイヤーを巻く爪を取り付ける等の処置をする。タイヤには滑り止めチェーンを巻く。小機材や資材等の細かな物については単管で屋根を作りシートで養生する。



1次盛土施工前法面除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	下流工事用道路国吉地区工事
施工場所	青森県弘前市大学国吉地内
工期	平成13年8月31日～平成14年3月29日
使用機材/機械	雪ベラ/バックホウ EX135UR 平積 0.34m <sup>3</sup> 、バックホウ PC200-6E 平積 0.6m <sup>3</sup> 、バックホウ PC138US-2 平積 0.239m <sup>3</sup> 、バックホウ SK75UR-3 平積 0.15m <sup>3</sup> 、タイヤショベル FL310-1 平積 1.3m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	シート養生して、上に積もった雪をシートにくるんで除去する。施工範囲を最小限におさえる。



人力除雪（養生シートの上は雪ベラで行っている）

【現場除雪事例：H13 青森県 10】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	船岡地区歩道工事
施工場所	青森県南津軽郡碓ヶ関村大字碓ヶ関地内
工期	平成 13 年 10 月 23 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	スチール製角スコップ、アルミ製角スコップ、プラスチック製雪へら / バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>次回除雪作業がし易いように人力除雪部分にはシートでおおいをしておく。人力除雪は障害物のないところへ出し、バックホウとダンプトラックで排雪する。新雪には軽くて大きめのアルミ製スコップ、プラスチック製雪へらを用いる。圧雪には重量感があり丈夫なスチール製スコップを用いる。氷結した部分にはツルハシ等を用いる。現場が狭いので除雪機械はローダーよりバックホウを用いる。</p>



シート養生

【現場除雪事例：H13 青森県 22】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 第826-3号 屏風山内真部線道路災害防除工事
施工場所	青森県北津軽郡金木町大字喜良市地内
工期	平成13年10月2日～平成14年3月20日
使用機材/機械	ホットウォッシャー、ボイラー
現場除雪の工夫・留意点等	降雪前に、シートによる養生を行い極力法面上の除雪はしない様に準備し、除雪の必要な部分については、以下の様に除雪を行う。人力作業にて、法面上の降雪を行い、人力作業では、おとせない部分（フレーム内）については、ボイラー（温水機）ホットウォッシャー（噴霧器）を使用して除雪を行う。



温水による融雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 24】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	柵手倉橋線道路改良工事
施工場所	青森県三戸郡新郷村大字堂ヶ前地内
工期	平成13年8月8日～平成14年3月5日
使用機材/機械	雪べら、スコップ、竹ぼうき、ガスバーナー/バックホウ0.25級、バックホウ0.45m <sup>3</sup> 級、タイヤショベル1.2m <sup>3</sup> 級、モーターグレーダー3.4m級
現場除雪の工夫・留意点等	ブルーシートで覆い、次の日の除雪を軽減させるようにした。



作業箇所の除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 25】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度(第805-6号) 岩木山環状線現道拡幅工事
施工場所	青森県中津軽郡岩木町大字高岡地内
工期	平成13年8月11日～平成14年3月25日
使用機材/機械	タイヤショベル 0.2m3級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪に備えて、作業終了前に必ずブルーシート等を敷き準備しておく。人力で雪を集積後、バックホウに積み込み現場内空地に集積する。作業場内、通路部の降雪はミニショベルで近くの水路に排雪する。



人力による除雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 10】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度住田地区構造物工事
施工場所	岩手県気仙郡住田町上有住字土倉298-33
工期	平成13年3月20日～平成14年3月15日
使用機材/機械	スコップ/バックホウ0.4m <sup>3</sup> 、バックホウ0.2m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	対象構造物にはシート養生を行い、シート上を除雪した

【現場除雪事例：H13 岩手県 23】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道 土淵達首部線 大洞の2地区道路改良工事
施工場所	岩手県遠野市附馬牛町東禅寺地内
工期	平成13年9月6日～平成14年3月19日
使用機材/機械	バックホウ0.4m <sup>3</sup> 級、大型ダンプ10t車
現場除雪の工夫・留意点等	法面部においては、ビニールシートで囲い、法面を養生する。シートに堆積した雪は、気温上昇にともない、法尻部へおちる。直、シートへ付着した雪は人力にて下方へおろす。法尻部へ堆積した雪をバックホウ及び人力にて、車道部へ集積し、ダンプトラックに積み込み、現場外(土捨場)へ搬出、堆積し、雪解けをまつ。



法面部シートで養生。勾配を利用し堆積雪は人力にて下方へ排雪

【現場除雪事例：H13 岩手県 28】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	花巻空港方八丁地下道東側函渠工工事
施工場所	岩手県花巻市葛地内
工期	平成 13 年 8 月 8 日 ~ 平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	スコップ、ワイヤーモッコ / バックホウ場内除雪
現場除雪の工夫・留意点等	<p>函渠築造工事であるため、躯体内に雪が入らない様毎日作業終了時には、シートで覆った。夜間シート上に降り積った雪を人力で集積し、ワイヤーモッコに積替え、クレーンにて排出した。躯体内に極力雪を落とさない様、人力とクレーンを使用した。</p>

【現場除雪事例：H13 岩手県1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道282号 一本木地区道路改良工事
施工場所	岩手県岩手郡滝沢村一本木地内
工期	平成13年9月21日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	スコップ
現場除雪の工夫・留意点等	ボックスカルバート工において、躯体内へ雪が入らないようにシート養生を行い、施工開始前に除雪、シート撤去を行った。また、車両進入箇所は、人力にて除雪をし、現場内に車両を入れた。機材は、凍結がひどくない場合は除雪用スコップ（プラスチック製）、凍結している場合は普通スコップを使用した。養生シートが雪の重さでたわんだりしないように、シートの下には足場板、木材等を入れた。

【現場除雪事例：H13 宮城県 7】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度県道改04003-001号 鳥屋道路改良工事
施工場所	宮城県栗原郡栗駒町鳥屋地内
工期	平成13年10月12日～平成14年3月8日
使用機材/機械	ホウキ、スコップ/バックホウ0.45m3
現場除雪の工夫・留意点等	盛土ヶ所が多いため仕上がったヶ所には、ブルーシートを掛けておき除雪は、人力作業で行います。まだ仕上がってないヶ所にはシートを掛けず、バックホウで除雪しました。



現場内除雪

【現場除雪事例：H13 秋田県 1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	大曲国道管内構造物補修工事
施工場所	秋田県横手市杉沢～仙北郡協和町峰吉川地内
工期	平成13年10月11日～平成14年3月8日
使用機材/機械	バックホウ 0.25m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	現道と並行する仮廻し道路で、施工中は一般車輛が通行しないので路床及び路盤全面をシートで覆い除雪し安くした。またシートに降雪した量が厚くなると、路盤面の外気に対する保温にもなり、除雪後やすく作業が出来た。



路盤面に敷設したシート上の除雪作業

【現場除雪事例：H13 秋田県 4】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	森吉山ダム鷺ノ瀬トンネル工事
施工場所	秋田県北秋田郡森吉町森吉地内
工期	平成12年3月6日～平成13年1月31日
使用機材/機械	スコップ(一般用)、スコップ(雪ハネ用)/バックホウ0.1級、バックホウ0.7級、レッカー25t+モッコ25t、11tダンプトラック11tDT
現場除雪の工夫・留意点等	施工範囲は、作業終了時ブルーシートにて養生を行った。資機材等は、決めた場所にシートをかけ、目印としてポール等を立てた。又、トンネル坑内を、資材置場として利用した。



【現場除雪事例：H13 新潟県 11】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 国政第16-2-4号日405号一般国道改築工事
施工場所	新潟県上越市大字高津地内
工期	平成13年12月19日～平成14年3月18日
使用機材/機械	スノーダンプ、角スコップ/0.2m <sup>3</sup> 級バックホウ、0.45m <sup>3</sup> 級バックホウ
現場除雪の工夫・留意点等	構造物の基礎工、及び型枠、鉄筋組立等の作業時に降雪が予想される場合に、作業終了時にブルーシートで養生して、翌日の除雪作業を容易に行えるようにした。



【現場除雪事例：H13 新潟県 12】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	バリまち第1502-00-01-00号 バリアフリーまちづくり事業工事
施工場所	新潟県新井市大字飛田地内
工期	平成13年10月31日～平成14年3月15日
使用機材/機械	スコップ、ブルーシート/バックホウ0.4m <sup>3</sup> 級、ダンプトラック4t
現場除雪の工夫・留意点等	施工、作業面をシート等にて覆い積雪時の除雪作業が円滑に行えるようにする。



シートは土が崩れないようにと除雪作業をやすくするため

【現場除雪事例：H13 新潟県 14】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	ふれあいの場づくり共同事業 H13ふれあい第14-00-01-01号 保倉川歩道橋下部工工事
施工場所	新潟県東頸城郡大島村大字仁上
工期	平成13年9月28日～平成14年3月15日
使用機材/機械	スコップ、スノーダンプ/バックホウ0.7m <sup>3</sup> 級、バックホウ0.4m <sup>3</sup> 級(小旋回型)
現場除雪の工夫・留意点等	<p>橋台下部工は、枠組足場を利用し屋根構造の自然落下型とし、正面、背面、側面は、メッシュシートを使用し雪を型枠内及び鉄筋に付着しない様に工夫した。掘削法面は落石防止ネットの上にブルーシートを張り、掘削法面に雪が付着し埋め戻しの段階で雪が混じらないことと法面での作業員の除雪を軽減した。作業手順としては、落下した雪を人力で機会除雪可能な場所まで運搬し、運搬された雪を、機械により現場内の空地に集積する。河川工事の熱、現場内の空地に集積した雪も多くなると気象の変化により出水により下流側の河川で水害を及ぼすことが考えられる場合は集積場所から場外に搬出する。</p>
	
<p>橋台工人力除雪状況</p>	

【現場除雪事例：H13 新潟県 16】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	日252号 山根橋県単橋梁補修工事
施工場所	新潟県柏崎市大字岩曾根地内
工期	平成13年7月25日～平成14年3月1日
使用機材/機械	スコップ、スノーダンプ/0.2t バックホウ、バケット付フォークリフト
現場除雪の工夫・留意点等	積雪量の少ないうちは、施工箇所前面にシートをはり、シートをはがすことによって除雪を行った。日々、除雪し施工箇所への積雪を少なくした。積雪量の多い時は、0.2t コンボにておおまかに除雪を行い、残った部分を人力にて除雪した。



規制幅の縮小

【現場除雪事例：H13 新潟県 21】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	国交一種 第0003-00-00-01号 一般国道117号 交通安全施設一種・国道(歩道)工事
施工場所	新潟県十日町市大字尾崎地内
工期	平成13年8月23日～平成14年3月31日
使用機材 / 機械	スノーダンプ及びスコップ / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 級、ダンプトラック 4t 車
現場除雪の工夫・留意点等	橋台の施工に当たっては、単管パイプとビニールシートにて打設後の保温養生小屋を兼ね、なるべく川の近くまで雪が滑り落ちるよう、勾配をつけて設置しています。構造物付近は人力による除雪をする為、スノーダンプ等を使用し、機械使用が可能な場所は、バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 級を使用します。尚、現場事務所兼作業員の休憩所が少し離れたところにある為、バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 級で雪を集めて、4t ダンプに積み込み川まで運搬し処理をしています。



左奥のブルーシートがパイプ小屋

【現場除雪事例：H13 新潟県 23】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	交B内第4 - 1号 (主)塩沢大和線緊急地方姥島橋)下部工道路工(その1)工事
施工場所	新潟県南魚沼郡塩沢町大字姥島新田地内
工期	平成13年8月31日~平成14年3月15日
使用機材/機械	アルミ製シャベル、スノーダンプ/タイヤショベル1,8m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー15t級、バックホウ0.7m <sup>3</sup> 級、バックホウ1.2m <sup>3</sup> 級、バックホウ0.2m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	足場上等、除雪作業が困難な場所については、全体をシートで覆う等の措置を施し、積雪防止に努めた。降雪、積雪により支障を来たす箇所(鉄筋組立時の構造物等)にはシート囲いを施すとともにジェットヒーター、投光器、煉炭等により給熱し融雪を行った。足場周辺の資材置場付近の除雪は、大型機械が使用できない為、ミニバックホウ(0.2m <sup>3</sup> 以下)を併用して人力除雪の補助を行った。事前に工事区間の除雪担当業者と打合せを行い、ロータリー等による投雪方法、場所について協議を行った。



【現場除雪事例：H13 新潟県 35】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	交電特改5の2 一般県道保田寺社線 道路橋下部工事
施工場所	新潟県北蒲原郡安田町大字寺社
工期	平成13年9月18日～平成14年3月15日
使用機材/機械	スコップ/バックホウ0.7m3級
現場除雪の工夫・留意点等	構造物工事の為、雪の集積しやすいようにシートで覆っておく。人力にて雪を集め、バックホウにて作業床外へ排雪。

【現場除雪事例：H13 石川県3】

除雪工夫分類	F:その他 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道二俣古屋谷線道路バリアフリー化促進(交安1種)工事(2工区)
施工場所	石川県金沢市納年町地内
工期	平成13年11月8日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	スコップ / タイヤショベル 1.6m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.45m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	片側交互通行の為、幅員確保にタイヤショベル、人力等で作業にあたる。施工中の構造物にシート類を覆うなどで埋戻し作業で雪を挟むのを防いだ。



機械での除雪状況

【現場除雪事例：H13 石川県 7】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	ふるさと支援道路整備（地方特定）工事
施工場所	石川県鳳至郡柳田村字北河内地内
工期	平成 13 年 10 月 22 日～平成 14 年 3 月 8 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.6m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	シート上の雪なので、シート一枚分の雪を真ん中に集積して、それをバックホウのバケットに人力投入して排雪する。バックホウ+スコップ

【現場除雪事例：H13 北海道 94】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	幾春別川総合開発事業の内 工事用道路7号橋工事
施工場所	北海道三笠市奔別地先
工期	平成13年3月22日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	ジョンパー、ママサンダンプ、アルミスコップ、角スコップ / バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 320BL, EX200、バックホウ 0.9m <sup>3</sup> 325B、ホイールローラ 910G 1.3m <sup>3</sup> 、ブルドーザ BD-2HL、移動式クレーン 25t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>                     人力タイヤショベルバックホウ0.7m<sup>3</sup>、ブルドーザ2tにて除排雪を実施した。使用する資材、埋戻し部にその都度ブルーシートにて養生を行ない、排雪を行なった。仮囲い屋根部に関しては、積雪が少量になるよう給熱を行い最小限の除雪を行うよう考慮した。(安全面も考慮)除雪、集積、排雪を考慮し、タイヤショベル1.3m<sup>3</sup>級を使用した。狭い箇所での除排雪は、ワイヤーモッコに集積し、クレーンにて吊り上げ、空地へ集積した。                 </p>



人力、クレーン 25t、ワイヤーモッコによる除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 4】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	洞内地区交差点改良工事
施工場所	青森県十和田市大字洞内字後野～字妻ノ神 地内（国道4号線）
工期	平成13年3月27日～平成14年3月5日
使用機材 / 機械	角スコップ（アルミ製）、ツルハシ、ガスバーナー、竹箒 / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 、タイヤショベル 0.40m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 2t、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>路盤、路床に雪が混入しないよう、ブルーシートを敷き（冬期間は毎日作業終了後敷設）降雪があった場合、人力及びバックホウ（0.25m<sup>3</sup>）で除雪。歩道部において併用させながらの施工ではブルーシートの上に、滑り止めのマットを敷設。除雪の処理は、民家等が近接しているため、バックホウ及び人力により2t～4tダンプトラックに積込み、当社資材置き場に運搬集積。当現場は現道拡幅工事であると共に、民家等とも近接しているため、小型機械により除雪。スコップはアルミ製の軽量かつ、普通より大きめのものを使用。</p>



電熱マットによる凍上防止と融雪

【現場除雪事例：H13 岩手県 31】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道上斗米金田一線金田一川地区道路改良工事
施工場所	岩手県二戸市金田一川地内
工期	平成 13 年 10 月 31 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.2、バックホウ 0.45、ダンプ 10t、ダンプ 4t
現場除雪の工夫・留意点等	丁張り材料等の回りについては、人力で集め、バックホウでダンプに積み込み置場へ運搬する。除雪の際、一般車両の通行を確保しながら、作業を行う。ブルーシート等で材料、法面、路盤等を覆って置く。



路盤部をシートで保護

【現場除雪事例：H13 北海道 135】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用 / B3:機械(機材)の適切な選定 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市板割沢改良工事
施工場所	北海道札幌市南区豊北
工期	平成13年3月1日～平成14年2月18日
使用機材 / 機械	スコップ等除雪道具 / タイヤショベル、0.7m <sup>3</sup> 級バックホウ、10t積ダンブトラック
現場除雪の工夫・留意点等	支障の無い限り、埋戻し、整地を行い、見出し等を建て重機による作業を容易にする。土砂碎石資材等はブルーシートで囲い、人力での除雪作業を容易にする現場内においては、作業する重機で行い資材置場、運盤路等は除雪専用タイヤショベルを常駐する除雪集積した雪は市、管理、雪捨て場に運搬する現場内除雪時、土砂等が混入しない様気を付けるが下が土砂なので必ず土砂が混入する。雪を分別し雪捨て場に運搬する
	

【現場除雪事例：H13 岩手県 25】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B1:除雪範囲の限定 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道花巻田瀬線谷内峠の2地区道路拡巾(堆雪)工事
施工場所	岩手県和賀郡東和町田瀬地内
工期	平成13年10月9日～平成14年3月15日
使用機材/機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.2m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.18m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 4t、ダンプトラック 2t
現場除雪の工夫・留意点等	シート養生を必ずする。作業工程に合わせて、必要な部分ずつ除雪する。できるだけ舗装、碎石、土の部分をだす。塩カルを多くまく。塩カルまきは、肥料散布用を使用する。



バックホウによる現場内除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 15】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械 ( 機材 ) の適切な選定 / D2:路面・法面への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	国局第13 - 00 - 00 - 00号 国403号 一般国道特殊改良一種 ( 坊金拡幅 ) 工事
施工場所	新潟県東頸木郡安塚町大字坊金地内
工期	平成13年7月13日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	スコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.4m3 級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪が予想される場合はブルーシートで構造物を覆い降雪に備える。降雪の場合は、大半の雪をバックホウで除雪し、その後ブルーシート上の雪を人力で除雪する。作業場の除雪完了後バックホウで現場内の空地に集積する。人力除雪する場合は、スコップ又はスノーダンプを使用するが、アルミ製の軽いもので雪が付着しないようにワックスを塗っておくと作業がしやすい。機会除雪する場合はバックホウを使用するが、舗装道路の場合は路面を傷つけないようにゴムのキャタピラ機械で一回に多くに雪を移動できる排土版付きのバックホウを使用した。



構造物をブルーシートで養生する